

### 3年1組 総合的な学習の時間 学習指導案

単元名「安心・安全なまちづくり」～四万十を安全・安心にしよう大作戦～

令和2年1月17日 指導者：宮崎 奈苗

#### 1 単元設定の理由

##### (1) 単元について

本校は、四万十川下流域に位置し、校区の北側には自然の多く残る地区、西側に住宅地、南側には商店があり交通量の多い地区と、それぞれの地区の特色が豊かな地域にある。校内の避難訓練では、毎年地震・津波のための高台への避難を行い、起震車訓練にも取り組んでいるため、防災への意識はある程度高められているといえる。交通安全についても、毎年各学年で交通安全教室を開き、啓発をしている。一方、不審者対策については、スクールガードリーダーが毎朝見守り活動を実施し、事件・事故は少ない地域ではあるが、毎年数件のつきまといや不審者の情報がある。子どもたちが安心して登下校するためには、地域と継続して連携していくことやさらなる環境の整備、子ども自身の防犯への意識を高めていくことが課題である。そこで、高知県安全教育プログラム第5章生活安全編の基本的な指導事項「犯罪から身を守る」を材として、「防犯・安全」という視点で自分たちの住んでいる具同地区を見直していく単元を設定した。中学年の発達段階では、様々な人との関わりができ、行動範囲も広がる傾向にあることから、自分たちで危険を予測し考えて行動する必要性がこれまで以上に高まってくる。そのため、この発達段階の時期に「校外での不審者の対応」を重点的に学習し、「入りやすく見えにくい場所には行かない。」等の防犯に対する知識を身に付け、自ら安全な行動をとることができるようになることをねらいとする。

本校では、総合的な学習の時間における小・中学校9年間で目指す子どもの姿を「ふるさと具同、四万十市、高知県を愛し、21世紀を創造し、生き抜く人材を育てる。」としており、3年生は低学年の生活科のつながりを生かして、総合的な学習の時間をスタートさせる学年でもある。生活科では、自分たちの思いや願いを発揮しながら、様々な体験を通して気付いたことを絵や言葉で表現し学習してきた。この経験を生かし、3年生では、身近な地域を学習の場として課題を見つける探究的な学習を行っていく。特に、2年生での校区探検の経験を踏まえ、生活安全の視点で探検をすることで、地域の中に危険だと思われる場所がないかという学習の課題を見出していく。地域の人や警察署の方に話を聞きながら知りたい情報を集め、単元終末では、調べたことを地域に発信していく。自分たちの力で情報発信をして地域とつながりを深めることで、地域の人々と進んで関わろうとする人間性を育成することができると思う。

##### (2) 児童について

本学級は、明るく活発な子どもが多く、5月に行った生活安全アンケートでも「地域の方にあいさつをしている。」の肯定的評価が100%であった。「遊具で安全に遊んでいる。」も全員が肯定的に評価しており、日頃からあいさつや屋外のけがの防止については意識をして生活できていることが伺える。しかし、校舎内での過ごし方については、廊下を走ってしまうこともあり、子どもたち自身もアンケートでの評価が低い。また、「登下校中に見守りをしてくれている人のことを知っていますか。」という質問では、40%の児童が「知らない」と回答した。このことから、送り迎えの児童が多いことも背景にあり、毎日見守り活動をしてきているスクールガードリーダーの方との関わり

があまりないことが分かった。

また、1学期のオリエンテーションでは、「安全」に関係することで知っていることを発表し合った。子どもたちからは、学校の合い言葉である「5あ」（挨拶、安全、後始末、集まり、遊び）や南海トラフ地震や火災に関する防災、交通安全、河川の増水など水辺の安全などが挙げられた。四十万市内に不審者情報があつた際にはメールや手紙で情報発信をしているが、保護者への情報に留まっておらず、子どもとの共有までには至っていないことが考えられる。そのため、子どもたち自身の防犯に対する意識は、防災や交通安全に比べると低く、事件・事故にあわないように自分たちで安全な行動をとることへの意識を高める必要がある。

### （3）指導について

#### ①生活と結びつく課題の設定

初めて総合的な学習の時間に取り組む学年であるため、身近な地域に目を向けて課題を見つけ、探究的な学びを楽しめるようにしていく。本校では、3年生から自転車登校が可能になることや、成長に伴って放課後の行動範囲も徐々に広がるといふ発達段階での実態と結び付け、「具同地区は安全といえるのかな。」という問いを投げかけるようにする。

まずは、1学期に特別活動や学校行事とも関連させ、災害安全、交通安全、生活安全について広く触れていく機会を設定する。学校行事で交通安全教室を行った際には、自転車の安全な乗り方や交差点や坂道での注意点、自動車だけでなく歩行者との事故の危険について学んだ。この学びから、「自分たちの住んでいる所にも、危ない坂道がある。」などの気づきや「自分たちの道路の利用の仕方は安全かな。」「具同地区の道路の様子はどうなっているのかな。」などの自分たちの住んでいる地域に目を向けられるようにした。同様に、防犯教室で不審者に遭遇した時の対応策や不審者に出会わないための予防法について学んだことから、子どもの思考が「自分たちの地域が防犯という視点で安全なのか。」という疑問につながるようにした。

#### ②専門家や地域の方から情報を得ながら、課題解決につなげる。

70時間の単元を子どもが主体的に学習に取り組めるように、関係機関や専門家、地域の方から話を聞く活動や、分からないことを教えてもらう場を多く設定して、課題設定と情報収集を繰り返せるように工夫する。

1学期は、交通安全教室や防犯教室でゲストティーチャーから学んだことをもとに、具同地区はそれぞれの視点から安全といえるのか考えた。そして、2学期には、地域探検で気付いたことや疑問に思ったことを聞くために、必要に応じて警察署の生活安全課、市役所のまちづくり課、地区の区長さんなどに話を聞いたり、子ども110番の家の方にインタビューをしたりした。特に、子ども110番の家や区長さん等、地域に住む方と直接関わる場を繰り返し設定し、思いや願いを聞くことで、地域の人たちとよりよく関わろうという気持ちを高められるようにしたい。

#### ③教科との関連を図りながら学習活動を進める。

各教科の学習内容の中でも、特に社会科と国語科との関連を重視しながら活動をしていく。

3年生での社会科の学習内容である「わたしたちのまちと市」、「安心・安全なまちづくり」と関連付けながら学習を進めるようにする。1学期に「わたしたちのまちと市」で地図の読み方について学習する。その学習を生かし、本単元において地域で調べたことを地図でまとめ、わかり

やすく整理できるようにする。探検の際にも、地図を見ながら計画・実施するようにし、地図を用いながら学習を進めるようにする。探検に行くために地区ごとに記された地図を用いたり、情報を整理するために校区全体が記された地図を用いたりする活動を繰り返すことによって、地図の有用性を感じ、子ども自身が必要だと思う時に活用できるようにしたい。2学期の「安心・安全なまちづくり」では、警察署や子ども110番の家について学習する。本単元と社会科での学びを関連付けて考えられるように、社会科で得た知識を想起しながら、学習を進めていく。そして、色々な人が地域を守ってくれており、自分自身も地域の一員であることを感じられるようにしたい。

また、国語の単元「メモを取りながら話を聞こう」、「案内の手紙を書こう」で学習したことを、インタビュー活動を行ったりお礼状を書いたりして、教科学習を実際の活動で繰り返し活用できるように場面の設定をする。

## 2 単元の目標

具同地区を防犯の視点から見直すための活動や地域を見守ってくれている人々と関わることを通して、地域の安全には、環境の整備、自分自身の行動、人とのつながりが大切であることを理解し、より安全な行動をとろうと考えるとともに、地域の人と主体的に関わることができるようにする。

## 3 単元の評価規準

観点	育てたい力	目指す子どもの姿
ア 知識・技能	① 概念的な知識の獲得	A 防犯には、不審者に遭遇した時の対応と、遭遇しないための予防的行動があることを理解している。 B 地域の安全のために、子ども110番の家や防犯灯等の様々な工夫がされていることを理解している。
	② 自在に活用することが可能な技能の獲得	A 具同地区の現状を捉えたり必要な情報をまとめたりするために、目的に応じて適切に地図を活用している。 B 課題の解決に必要な情報を得るために、インタビュー活動をしたり、大切なことを落とさずにメモを取ったりしている。
	③ 探究的な学習のよさの理解	A 環境と行動、人とのつながり等が地域の安全には大切であるということの理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。
イ 思考・判断・表現	① 課題を設定する力	A 交通安全教室や防犯教室、専門家の意見から学んだことをもとに日常生活を振り返り、自分たちが知りたいことや地域に伝えたいことを見つけている。
	② 情報を収集する力	A 危ない場所や防犯のための工夫を見つけ、ワークシートに記録している。
	③ 整理・分析する力	A 各地区で調べたことを比較し、共通点や差異点を見つけながら防犯について考えている。
	④ まとめ・表現する力	A 収集した情報を地図上に分かりやすく記し、友だちと話し合うことができる。 B 危ない場所や防犯のための工夫について、分かりやすくまとめ、地域の人に伝えている。



<p>たいことを話し合い、探検ルートを計画する。</p> <p>○地区別に探検をして、調べたことを伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルートを決めて、探検と一緒にしてくれる先生にお願いに行こう。</li> <li>・子ども110番の家がたくさんあったよ。不審者に会った時以外にも、けがをした時にも助けてくれるそうだよ。</li> <li>・子ども110番の家に逃げると、警察署にも連絡をしてくれると言っていたよ。</li> <li>・シールを貼っていたけど、もうやっていないお店もあったよ。</li> <li>・子ども110番の家がたくさんある地区とそうではない地区があるね。</li> <li>・公園に公衆電話があったよ。警察署や消防署につながるみたいだよ。</li> <li>・あまり使われていない公園や、狭い道もあったよ。昼間は安全でも、暗くなると危ないね。</li> </ul>	<p>ア②-B</p> <p>イ②-A イ③-A</p>
<p>交通安全や生活安全について、学習したことを振り返ろう。(1時間)</p>		
<p>○総合ファイルや写真をもとにして、1学期の学習を振り返る。</p> <p>○2学期はどんなことをしたいのか、大体的見通しを持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全教室のことを忘れずに、自転車に乗る時は気を付けるようにしている。</li> <li>・見通しの悪い所は、不審者が出やすいから気をつけよう。</li> <li>・子ども110番の家の人たちを紹介したい。</li> <li>・もっと子ども110番の家を増やして安全な町にしたい。</li> <li>・危ない場所などを下級生や地域の人に伝えたい。</li> <li>・調べたことを地図や新聞にまとめて、色々な人にみてほしい。</li> </ul>	<p>イ④-A</p>
<p>具同地区は安全といえるのかな。(3時間)</p>		
<p>○1学期の探検を思い出し、新たな課題を見いだす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども110番の家がたくさんあったから、安全な場所もある。</li> <li>・公園や高架下の道には、見通しの悪い所があった。</li> <li>・子ども110番の家や街灯がない場所は、安全とは言えない。</li> <li>・子ども110番の家や街灯を増やして、もっと安全なまちにしたい。</li> <li>・そのためには、誰に聞くといいのかな。</li> </ul>	<p>イ①-A ウ②-A</p>
<p>子ども110番の家のことや防犯灯のことは、誰に聞くといいのかな。(6時間)</p>		
<p>○課題解決に向けて、専門家の意見を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうすれば子ども110番の家や公園の監視カメラ、街灯が設置できるのか、生活安全課の佐々木さん、まちづくり課の加用さん、区長会長の浜田さんに聞いてみよう。</li> <li>・今までの探検で気付いたことを伝えて、自分たちのやりたいことを知ってもらおう。</li> </ul> <p>《公園》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の監視カメラの設置や植木、トイレの管理等、自分たちの知らない所で働いてくれている人がいたんだ。</li> <li>・監視カメラの設置をはじめ、安全のための管理には、色々な人の手が入ったり税金がかかったりしているんだ。</li> <li>・監視カメラが本当に必要なのかも一度話し合ったり、地域の人の意見を聞いてみたりしようかな。</li> <li>・見通しをよくするために植木の剪定をしたり、公園の清掃に参加</li> </ul>	<p>イ②-A ア②-B</p>

	<p>したりすることができそうだな。</p> <p>《子ども110番の家》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ自分たちの知らない子ども110番の家がありそうだな。</li> <li>・もう1度、どれだけの子ども110番の家があるのか、正確に調べてみる必要があるそうだね。</li> <li>・増やしすぎても覚えきれないから、ただ増やせばいいというわけでもないな。</li> </ul> <p>《街灯》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街灯の他に、防犯灯というものがあるんだな。</li> <li>・地域の区費を使って、自分たちの生活をよくするために活動をしていることが分かった。</li> <li>・みんなのお金を使うからには、本当に必要な所がどこなのか、しっかり考えないとイケないよ。</li> <li>・地域に住んでいる色々な人の意見を聞いて、防犯灯が必要な所がないか調べてみるといいね。</li> </ul>	イ①-A
<p>子ども110番の家や防犯灯が必要な場所はどこかな。(15時間)</p>		
<p>○専門家からのアドバイスを受けて、さらに必要な情報を収集する。</p> <p><b>本時41 / 70時間</b></p>	<p>《子ども110番の家》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ調べていない子ども110番の家に行ってみよう。</li> <li>・子ども110番の家の人がどんな気持ちでなっているのかを聞いてみよう。</li> <li>・地図にまとめると分かりやすいね。</li> <li>・子ども110番の家が多い場所と少ない場所で偏りがあるね。</li> <li>・自分たちの家の近くにもっとほしいね。</li> <li>・多すぎてもいけないから、本当に必要な場所がどこなのかを話し合おう。</li> </ul> <p>《防犯灯》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの通学路やよく利用する道路にどれだけの街灯があるのか調べよう。</li> <li>・色々な地区の防犯灯がほしい場所を確かめてみよう。</li> <li>・地図にまとめると分かりやすいね。</li> <li>・沢山は立てられないから、本当に必要な所がどこなのかを決めよう。</li> </ul>	イ③-A ウ②-A
<p>誰にお願いをするといいのかな。(6時間)</p>		
<p>○安全なまちづくりのために新たな設備の設置を依頼したり、公園の手入れに参加をしたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども110番の家や防犯灯を設置してもらうために、警察署や区長さんにお願いをしよう。</li> <li>・どうしてそこに必要なのか、地図を使って伝えよう。</li> <li>・子ども110番の家になってもらえるか、そのお店の人に事前に確認もしないとイケないね。</li> <li>・公園の植木の手入れをさせてもらって、見通しをよくしよう。</li> </ul>	ウ①-A
<p>2学期の学習を振り返ろう。(4時間)</p>		
<p>○活動の振り返りを</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と協力をして、探検や話し合いができた。</li> </ul>	ウ②-B

<p>する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの安全な暮らしのために色々な人たちが働いていることが分かった。</li> <li>・安全なまちづくりのために、地域の役に立ててよかった。</li> <li>・新しくできた子ども110番の家や防犯灯のことを、地域の人に知らせたい。</li> <li>・学習を助けてくれた人たちにお礼がしたいね。</li> </ul>	
<p>どうすれば、みんなに知らせることができるかな。(14時間)</p>		
<p>○新たな設備を知らせるために、地図や手紙を作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども110番の家の人や警察署の方にも見てもらいたいね。</li> <li>・教えてくれた人たちに、見てもらいたいな。</li> <li>・学習ができた感謝の気持ちも伝えたい。</li> <li>・学校に招待して、直接伝えたいね。</li> <li>・来ることができない人のために、手紙や新聞を配るのもいいね。</li> </ul>	<p>イ④-B</p>
<p>これまでの学習を振り返ろう(2時間)</p>		
<p>○読んでくれた人の感想を読み、1年間の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの人に読んでもらってうれしい。</li> <li>・探検や地図作りができて、自信が持てた。</li> <li>・自分たちも、出かける時の行動や時間帯に気を付けるようになったよ。</li> <li>・これからも、あいさつなどをきちんとして、子ども110番の家の人たちや地域の人たちと仲良くしていきたい。</li> <li>・挨拶をしたりごみを拾ったりして安全な町を守りたい。</li> <li>・不審者対策以外にも、自分たちで気を付けて安全な生活を意識していきたい。</li> </ul>	<p>ウ②-B ア③-A</p>

5 本時の学習（41 / 70時間）

(1) 目標 各地区で調べたことを比較しながら、新たに子ども110番の家になってもらう場所を考えることができる。

(2) 展開

学習活動	子どもの意識の流れ	教師の支援及び留意点・評価
1. 前時までを振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探検で見つけた子ども110番の家の場所を確かめたね。</li> <li>・たくさんの方にインタビューができたね。</li> <li>・全部で20か所以上あったけれど、まだ必要なのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューをした時の写真を掲示し、今までの学習を想起できるようにする。</li> </ul>
2. 本時のめあてを確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">新しい子ども110番の家がみつような場所は、どこかな。</div>	
3. 地図上の情報を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの地区で子ども110番の家がほしい所も考えたね。</li> <li>・やっていることを確かめた場所はどこかな。</li> <li>・自分たちの通学路はよく利用する道だから、そこに必要だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども110番の家がほしい場所と、既にある場所が分かるように、拡大地図を提示する。</li> </ul>
4. 地図をもとに話し合う。 グループ ↓ 全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども110番の場所が偏っているけれど、この場所に本当に必要なのかな。</li> <li>・佐々木さんが「いつでも人がいて、子どもを助けられる場所じゃないといけない」と教えてくれたよ。</li> <li>・自由ヶ丘の山みずきは、1学期にお願いしたよ。</li> <li>・中山と相の沢は、通学路があるのに少ないから、1か所はほしいね。</li> <li>・渡川は、お店のない住宅ばかりの所もあるね。</li> <li>・子ども110番の家以外にも、パトロールしてくれている車があると言っていたよ。</li> <li>・お店がない所は、パトロールに来てくれているか、聞いてみたいな。</li> <li>・子ども110番の家をお願いする所は、山みずきと○にしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて通学路を記した地図を掲示して、地図を比べて考えられるようにする。</li> </ul> <p>○各地区で調べたことを比較し、共通点や差異点を見つけながら防犯について考えている。(イ③-A)</p> <p><b>【発言・ワークシート】</b></p>
5. 本時のまとめを行う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">みんなの通学路で、子ども110番の家がない所に必要だ。</div>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分とは異なる意見も認めながら、友だちと協力して課題を解決しようとしている。(ウ②-A)</li> </ul> <p><b>【発言・振り返り】</b></p>



(3) 板書計画

11月13日 金曜日 西上野

⑩の家の人たち  
いつでも来ていい  
あいさつしてくれて  
うれしい

⑪  
やく20か所

地図をくわべて  
考える



中山 中和 自由ヶ丘 入田  
田黒 波川 相の次 鳥越 赤松  
いろいろない

通学路になっている。  
近くに⑩がない。  
たくさんの子世が  
通る

まとめ  
みんなの通学路で⑩がない  
( X )に必要だと思っ